

東京・ふるさとショップ探訪

〔第2回〕

信州のしあわせをシェアする場「銀座NAGANO」

オープンから3年半で入館者300万人達成

✦ 文 山田 稔 Text by Minoru Yamada ✦



銀座NAGANO

住所：中央区銀座5-6-5 NOCOビル1F・2F・4F
TEL：03-6274-6015 営業時間：10:30～20:00

銀座5丁目の一等地に2014年10月にオープンした「銀座NAGANO」。特産品の販売や観光PRが主流だったアンテナショップの概念を打ち破る新たなモデルを展開したことで注目を集めた。キャッチフレーズは「単なるアンテナショップではなく信州のしあわせをシェアする場に」。

1Fはショップスペース。信州を代表する食材や伝統食、ジビエ、果物、野菜などが並ぶ。中央付近にあるカウンターでは信州の地酒やワインを手ごろな価格で飲み比べることができる。筆者が訪れたときは外国人の観光客がNAGANOワインの味わいを堪能し

ていた。都会では触れることのない希少な銘柄を発掘するチャンスだ。

2Fはイベントスペースと最新の観光情報が得られる観光インフォメーションコーナー。キッチン付きのイベントスペースでは連日、さまざまなセミナーや料理体験イベントなどが開催されている。6月は地元の方が旬の食材でつくる定番メニューやアレンジ料理を楽しむ「しあわせ信州朝クラス」や「6種のぶどう品種の塩尻産ワインセミナー」などが行われた。朝のイベントには出勤前のサラリーマンやOLの姿も。人気ぶりがうかがえる。

4Fはコワーキングスペース&移住交流・就職相談コーナー。ビジネスマッチングや打ち合わせに加え、U・イターン支援、移住、就職相談などを、県の複数の常駐職員がワンストップサービスで対応してくれるのが最大の特徴だ。イターン登録制度、創業支援、長野

県後継者バンクなど、移住や起業に向けたサポート制度も充実している。

単なる物品販売にとどまらず、信州とのつながりを積極的に展開していくスタイルが支持され、今年4月22日には開館から3年半で入館者が300万人に達した。銀座に出かけた折はぜひ立ち寄ってみたいスポットだ。



profile

1960年生まれ長野県出身。日刊ゲンダイ経済編集部長、広告局次長を経て独立。編集工房レーヴ代表。著書に「酒と温泉を楽しむ「B級」山歩き」(光文社知恵の森文庫)、「分煙社会のススメ。」(光文社)など。「美楽」創刊時に山歩きエッセイを連載。